組織改編と 市民に信頼され

市民の役に立つ市役所を目指して

●次長級

用に配慮し、 大限に発揮できるよう、適材適所の職員配置を行い、 必要な組織改編を行うとともに、 働いてよし、 4月1日付けで組織改編と職員の人事異動を実施。 「職員の意識改革」と 訪れてよしの「選ばれるまちづくり」の実現に向け、 職員一人ひとりが持てる能力を最 「組織の活性化」を目指します。 住んでよ.

組織改編など

●東京事務所を新設

進を図る。 本市施策の実現、市政の円滑な推 興に関わる情報収集・発信など、 中央省庁や関係団体との連絡調 企業誘致や港湾振興、観光振

的成長と経済規模の拡大を図る。 を積極的に推進。 地域経済の安定

●企業立地・雇用促進課を設置

と連携し、

企業誘致

●債権管理課を新設 る観点から、債権管理条例に基づ 市民負担の公平、 本格的に未収金の削減に取り 公正を確保す

●公共施設経営管理係の新設

施設の再生に向けた取り組みを進 化や複合化、 優先度の高い施設から、 長寿命化など、公共 多機能

幹

(総務部管財契約課主幹兼管財係

部福祉援護課主幹兼保護係長)福西

兼地域医療係長(保健福祉部保健福 与志孝▽保健福祉部健康増進課主幹

山下圭一▽総務部債権管理課長

(議会事務局総務課主幹兼調査係長)

石本勝則▽総務部債権管理課主幹(西

健福祉部健康增進課付主幹舞鶴地域 病院事務局総務課主幹)浜本一▽保 祉企画課主幹兼地域医療係長兼市民

指導検査課指導係長)岡克明▽会計 課主幹兼集落排水係長(指導検査室

務局総務課主幹兼調査係長(総務部 課長(安岡園長)西野和良▽議会事 係長)大草修▽下水道部下

-水道建設

木課主幹(建設部土木課主幹兼整備 幹石巻市派遣)松本眞一▽建設部土 画調査係長(企画管理部職員課付主

医療連携機構派遣(保健福祉部保健

●舞鶴ローカルハローワークを新設 ハロ

雇用の促進を図る。 介と就労支援を一体的に推進し、 業支援センターにおいて、職業紹 ーワ ーク舞鶴と連携し、 就

ツ振興課に職員を配置。

ング競技の開催に伴い、その準備

育振興部社会教育課長)吉岡博之

平成27年の全国高校総体レスリ

と競技の普及啓発を図るため、

補職者の異動

●部長級

部次長)前羽仙圭▽会計管理者 ▽総務部長(企画室長兼秘書課長) 民環境部次長兼西支所長)宮下哲美 入江秀人▽保健福祉部長(保健福祉

●全国高校総体に向け体制強化

●地域医療事務の移管

域医療再生の道筋が立ったことか 域医療の一層の充実が図られ、地 互いの連携体制の強化により、 ら、その事務を健康増進課に戻す。 各公的病院の医療機能の充実、 地

女性職員の登

原子力防災係長(危機管理室危機管理· 防災課原子力防災係長)福田伸一▽企 ▽危機管理室危機管理・防災課主幹兼 設総務課主幹)竹内章二 導検査課主幹兼指導係長(建設部建 土木課長)戸田篤志▽指導検査室指

務課長(総務部総務課主幹兼行政係 雇用対策課長) 岡野昌和▽総務部 協議会派遣(産業振興部産業振興· ▽企画室東京事務所長 旧軍港市振興 画室企画政策課改革推進係長)岩田宏幸 画室企画政策課主幹兼改革推進係長(企 小林圭太▽総務部管財契約課主

▽教育振興部次長兼社会教育課長(教 育振興部次長兼学校教育課長)碇和重 課長)竹内修▽監査委員事務局長(教 次長兼総務課長(総務部次長兼総務 哲治▽保健福祉部次長兼高齢者支援課 次長(保健福祉部福祉援護課長) 境部次長兼西支所長(総務部情報シ 健福祉部次長(地域医療担当)兼市 長(危機管理室危機管理・防災課長) 部水産課長)山口泰司▽議会事務局 ▽建設部次長兼土木課長(産業振興 福祉部次長兼保険医療課長)三上泰文 長兼地域包括支援センター所長(保健 ステム課長)谷川伸一▽保健福祉部 民病院事務局次長)瀬川治▽市民環 今儀浩一▽企画室長兼秘書課長(保 危機管理室長兼危機管理・防災課 名内

●課長級

•指導検査室指導検査課長(建設部

圆 企画政策課(☎66・1042)

市の政策を評価

問危機管理・防災課(☎66・1089)

署火災予防課主幹兼庶務係長(西消防署

部警防課警防係長)竹本佳康▽東消防 ▽消防本部通信指令課主幹(消防本 助課長兼東消防署中出張所長)竹内義和 ▽消防本部通信指令課長(消防本部救急救 張所長(東消防署警備3課長)岡山寛

火災予防課主幹兼庶務係長)

子ども育成課長(子ども未来室子ど 公開係長)山本幸子▽子ども未来室 子ども福祉係長(総務部総務課情報

▽観光まちづくり室文化振興課主幹 育課主幹兼社会教育係長)井本正樹 祉センター所長(教育振興部社会教 樋口誠▽文庫山学園長兼加佐地域福

兼赤れんがパーク係長(観光まちづ

室文化振興課赤れんがパーク係

も育成課主幹)北川晴美▽子ども

来室子ども育成課主幹

(保育所担当)

市民相談課市民相談係長)荒木正純 課主幹兼市民相談係長(市民環境部 長)道林博司▽市民環境部市民相談

▽子ども未来室子ども支援課主幹兼

啓発推進課主幹兼男女共同参画係長

(建設部建設総務課主幹兼用地第1係

左織美紀恵▽安岡園長(安岡園主幹

兼福祉係長(西支所市民・年金係長) 兼福祉係長)村川嘉久▽安岡園主幹 期高齢・福祉医療係長(保健福祉部

保険医療課後期高齢・福祉医療係長)

長(消防本部通信指令課長)羽賀田淳 育成課長)山口裕▽消防本部総務課 中央公民館長(子ども未来室子ども 係長(青葉中学校教頭)廣瀬直樹▽ 教育課主幹(総括指導主事)兼指導 合派遣)森下敏宏▽教育振興部学校 医療課付主幹後期高齢者医療広域連 興部学校教育課長(保健福祉部保険 税務課家屋係長)藤川英之▽教育振

▽消防本部救急救助課長兼東消防署中出

課主幹兼国民健康保険係長)福本一

夫▽保健福祉部保険医療課主幹兼後

保険医療課長

(保健福祉部保険医療

画係長) 小寺雅之▽

人権啓発推進室

推進室啓発推進課主幹兼男女共同参 進課主幹兼人権啓発係長(人権啓発 (総務部情報システム課情報管理係 情報システム課主幹兼情報管理係長 事務局総務課長)笹原英昭▽総務部 卓▽総務部情報システム課長(議会 険医療課主幹兼徴収総括係長)西村 理課主幹兼徵収係長(保健福祉部保 支所主幹)安藤一秋▽総務部債権管

構派遣(保健福祉部健康増進課健康 康增進課付主幹舞鶴地域医療連携機 機構派遣)池田秀男▽保健福祉部健 福祉企画課付主幹舞鶴地域医療連携

づくり係長)島田敦司▽保健福祉部

吉崎豊▽

人権啓発推進室啓発推

東地区の自主避難所を一時的に変更 ⇒ 南公民館) (東公民館

健福祉部福祉援護課主幹(保健福祉 祉部高齢者支援課長)伊藤和昭▽保

中西滋▽建設部建設総務課主幹兼企

課農政係長)桑垣義亮▽産業振興部 課主幹兼農政係長(産業振興部農林 流係長)有吉央顕▽産業振興部農林

水産課長(指導検査室指導検査課長)

警備1課長(東消防署警備1課長) 幹兼予防係長)井口信夫▽西消防署 兼予防係長(東消防署火災予防課主 岸本隆弘▽西消防署火災予防課主幹 係長兼東消防署中出張所警備3係長) 3課長(消防本部救急救助課救助3 備1課長)山口春幸▽東消防署警備 ▽東消防署警備1課長(西消防署警

地域包括支援センター所長)

高齢者支援課主幹兼相談支援係長兼 課主幹兼介護保険係長(保健福祉部 小林三千代▽保健福祉部高齢者支援 兼西乳児保育所長(西乳児保育所長)

雇用促進課長(観光まちづくり室み 長) 井上隆一▽産業振興部企業立地・

なと振興・国際交流課主幹兼国際交

5月1日から東地区の自主避難所を、東公民館 から南公民館へ一時的に移します。これは、東公 民館の機能を東コミュニティセンター(総合文化 会館内)に移したことによるものです。台風の接 近などで自宅にいるのが不安な人は、自主避難所 への早めの避難を心がけてください。

防災行政無線の音楽「舞鶴イメージソング」を放送

4月から毎日夕方に試験的に流していた防災行 政無線の音楽は、今後も当面、舞鶴イメージソン グ「My hometown 舞鶴 - このタカラモノを未来 へ - (ピアノバージョン)」を放送します。なお、 夕方の放送時間は4~9月は18時、10~3月 は 17 時です。

まいづるメール配信サービス 気象警報を分かりやすく配信

5月1日から「まいづるメール配信サービス」 の防災情報(気象警報)の配信方法の一部を変更 します。これまで、気象警報発表時には、府内全 域の情報を一斉に配信しており、文字数が多く舞 鶴市に発表された情報が非常に分かりにくかった ため、システムを改善。舞鶴市の情報のみを配信 するよう変更するものです。また、今回から新た に土砂災害警戒情報と地震の震度速報(舞鶴市の 情報のみ)も配信します(登録は325つコードから)。

※府内全域の情報は「京都府防災・防犯情報メー ル配信システム」を活用ください。下記のアドレ スにメールを送信し、登録手続きを

◇アドレス…anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp

市の政策を市職員と市民、 有識者が議論する「市民によ る政策評価会」を今年も実施

評価結果をもとに、今後 総合計画後期実行計画の策定 などに反映させていきます。

6月1日 回9時から

市政記念館

総合計画前期実行計画に示す施策や事業に ついて、方向性や充実度を評価し、後期実行計画策 定に向けて意見を交換する

【評価体制】 ◇コーディネーター (1人) 令市民評価員(4人) 令市民判定員(18人) 【その他】 傍聴可。申し込み不要

昨年度は「観光の振興によるビジネスチャンス の創出と観光消費の拡大」と「公共交通の確保と 利用促進」をテーマに実施。今年度、その議論を 反映し次のとおり新たに取り組みます。

《観光》

- ◇市民のアイデアを生かした土産品開発や「食のブ ランドカ向上プロジェクト」の実施
- ズ客船おもてなし関係者連絡会議」の設立など、 関係者と連携した地域活性化への取り組みを実施

《公共交通》

- ◇京都交通㈱と協力し、バス路線「東西循環線」を 利便性の高いルートに変更
- ◇高齢者が移動しやすい環境をつくるため、交通事 業者の協力による「高齢者外出支援」を実施

11 maizuru 2014 - 5 2014 - 5 maizuru **10**